

# おきたま 社会教育情報

Vol. 133 令和3年8月号

## 公民館・コミュニティセンター・社会教育関係職員等研修会 (兼) 地域とともにある学校づくり研修会 (兼) 社会教育主事有資格教員等研修会

8月6日(金)、オンラインで標記研修会が行われました。講師は、NPO法人まちと学校のみらい代表理事、文部科学省コミュニティ・スクールマイスターの竹原 和泉先生で、「コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的推進による学校、地域、そして子どもの変化」という演題で講演いただきました。



教室内での学びは自動車教習所のようなもの、生きた学びをコーディネートしようとするれば子どもや地域のためになること、協働活動や運営協議会はカリキュラムを軸に協議をしておのずとしなければならないことが見えてくることなど、地域学校協働活動やコミュニティ・スクールを運営するに当たって大切なお話をいただきました。

講演の最後、地域と学校で汚れた川をきれいにするプロジェクトを行った後のインタビューのお話が印象的でした。自治会長さんは「川をきれいにするためにチューリップを植えることにしたのは私です」、学校の生徒さんは「チューリップを植えることを決めたのは私たちです。」とおっしゃいました。つまり活動には主体性が必要であり、主体性があるからこそ本当の学びがあることを再確認させていただきました。



今年度は、学校運営協議会の委員の方、学校事務の方など例年より多種多様な職種の方々に参加いただきました。地域と学校の連携・協働の在り方に関心が高まっていると感じられます。来年度もニーズにあった研修会が開催できるよう努めてまいります。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

## 山形教育用品株式会社置賜支店における 家庭教育出前講座



8月23日(月)、山形教育用品株式会社置賜支店(南陽市)の従業員の皆様を対象に、第1回家庭教育出前講座を開催しました。講師に山形県家庭教育アドバイザーの黒田三佳氏を迎え「レジリエンス(精神的回復力)を高めるための職場づくり」を演題とし、コロナ禍において家庭や職場でのモチベーションをどのように保持していったら良いのか、個人が折れない職場環境をどのようにつくっていったらよいのかについて研修を深めました。レジリエンスとは物理学用語で、はね返す力、外部から受けたゆがみを元に戻す力のことで、



今回はレジリエンスを回復力と捉えお話していただきました。新型コロナウイルスの感染拡大により、急遽 Zoom によるオンライン開催となりましたが学びの多い時間となりました。



置賜教育事務所では、家庭教育出前講座において、仕事と子育ての両立や工夫(ワークライフバランス)や働き方改革など、子育てや家庭教育に関する悩み、仕事と家庭の調和に関する悩みについて解決の一助となるよう、御希望に合わせた講座をプロデュースします。ぜひご活用ください!

# 今こそ集え、若い力！

## 「第1回 おきぼら地域クリエイター in 小国町」開催！

8月10日（火）、小国町を会場に「第1回おきぼら地域クリエイター」が行われました。この事業は置賜管内の高校生を対象に、“ボランティア活動から一歩先へ踏み出して、地域を創り地域を元気にする活動へ取り組んでもらおう”という主旨のもと企画いたしました。当初の予定を上回る12名もの高校生が参加してくれました。今回は、台風が近づいてきたこともあり悪天候の中の開催となりましたが、ボランティアや地域づくり活動について学ぶため、盛りだくさんのプログラムを実施することができました。内容について少しご紹介いたします。

午前中のセミナーは、小国町の大宮子易両神社の社務所をお借りして行われました。小国町で昨年度まで地域おこし協力隊として活動し、現在はシェアハウスを運営されている吉田悠斗さんを講師に迎え、小国町に来ることになったきっかけや、町民の皆さんとのつながり、地域づくり

活動にかける思いなどをお話していただきました。その後、会場を小国町初のシェアハウスである「Tabetai House Omiya」に移し、小国町猟友会会長の遠藤春男さんから「小国町とマタギ文化」についてのお話をお聞きしました。獣の命をいただくマタギの教えについて学び、参加者の高校生からは「命の大切さとありがたみを知った。」「自然との共存の為だとわかった。」などの感想が聞かれました。



午後からは、大宮子易両神社の例大祭で使われる巨大なしめ縄を見学し、そのしめ縄を作る際に行う「縄ない作業」を体験しました。藁をたたき、足の指に挟んで両掌でこするように縄をなう作業は想像以上に難しかったようですが、参加者の高校生達は四苦八苦しながら熱心に縄を

ない、日本に昔から伝わる伝統的な技法を学ぶことができました。

この「おきぼら地域クリエイター」事業は今回で終わりではなく、11月を目途に、高校生が自分たちの手で「地域を元気にする活動やイベントを実施する」ことがゴールとなります。日時や会場、企画内容についても、これから高校生たちが自ら考えていきます。先月号でご紹介したファシリテーターに協力してもらいながら、このコロナ禍の中で今の置賜に必要なことは何か、自分たちにできることは何かを考えていきます。詳細が決まりましたらまた本誌にてご紹介させていただきます。

（参加者高校生：南陽高校より8名、米沢東高校より3名、小国高校より1名）

### お知らせ

- ◆令和3年度東北地区社会教育研究大会（兼）山形県社会教育研究大会（10月14日）  
⇒ 県内の方もオンラインでの参加となりました。
- ◆総合型地域スポーツクラブサミット in 山形（8月29日）⇒ 延期（延期後の期日は未定）
- ◆置賜社会教育振興大会（兼）置賜地区生涯学習ブロック大会（11月16日）  
⇒ オンラインでの開催

※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 ☎ 0238(88)8242】